

令和5年度智頭町百人委員会企画提案事業の概要と担当課の考え方

						予算要求額(千円)	
部会名	提案企画事業	要求額 (千円)	担当課	事業の概要	担当課としての考え方	まちづくり 交付金	町事業と して計上
智頭中	智頭町の農林業の可能性を探る ～新しい特産品開発を目指して～	460 ↓ 700	企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町産の農産物や木材を使って、ニーズがある、原材料の良さが活きる、関心度が上がる等の視点から、新たな加工品開発を企画、提案する。 ・町内の生産者や事業所、高校関係者等へのプレゼンを行い、指導助言を得て、加工品の加工品の改良をする。 ・完成した加工品を関係者、保護者、地域の方から評価していただき、完成度の高いものは商品化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物や木材を使った加工品が多数ある中、“中学生が考える”新たな加工品を作成するために入念に打ち合わせや話し合いを行い、具体的なものにしていく必要がある。 また、中学校と企業・高校の連携を密にし、完成度の高い加工品を作り、商品化に繋げていただきたい。 ・加工品、新商品を作るにあたっての予算額増 (1班50,000×8班 → 1班80,000×8班) 	700	—
智頭農林	商店街活性化プロジェクト 「ちのりんショップの運営改善」	329	企画課 教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品づくり 智頭農林高校産規格外トマトを利用したピザソースを製造販売し、町の飲食店への販売・利用を最終目標とする。また、智頭町の特産物としてハックルベリー^①の栽培に取り組む。 ・ちのりんショップの継続実施 開店から9年が経ち、安定的に運営ができていたが今まで以上にイベントやカフェなどを充実させ来客者を増やしたい。生徒が自ら考え、積極的に地域貢献・発展的学習の活動ができる体験機会を確保したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品を作ることは、町のPRや町内事業者、団体の連携が見込まれ、町内全体の活性化に期待できる。実現に向けて、事業者との事業協議を綿密に行ってもらいたい。 ・今後は運営、集客環境の改善策として店舗改修等、もっと積極的に予算要求していただいても良いと考える。 	329	—
	智頭宿魅力アッププロジェクト	1,276	企画課 教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の職人や染色家に指導していただき、高校生が格子やのれんを作成する。智頭宿のお家の玄関など、通りから見えるように設置してもらい、格子や染め物を通して、町並みにも興味を持ってもらい、関心を高めていくことを目的とする。 ・西日にさらされて色落ちが始まっているのれんの染め直し・仕立て直しを実施し、伝統的な染色の技術の継承はもとより智頭宿への愛着や関心を更に高める。 ・関係機関とより密に協力し智頭宿周辺に限らず範囲を拡げ、智頭町の新たな魅力づくりに貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭宿の歴史・文化を継承や観光客の満足度の向上に繋がるこの取り組みが途切れないように積極的に支援する。 ・地域住民と協力したことに対して誇りを持ち、次の世代にも継承していただけるような活動にしていきたい。 	1,276	—
小計		1,605				1,605	
合計 (3事業)		2,305				2,305	0